

あいづまちなかアートプロジェクト2019について (会津・漆の芸術祭 × まちなかピナコテカ)

あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会

○趣旨

まちなかの歴史的建造物や蔵などを活用することで、建物が持つ空間的魅力と芸術作品のコラボレーションによる地域の魅力を活かした芸術文化の盛り上げや、まち全体、人と人との交流を通しながら、芸術をきっかけに、会津のまちに生まれた文化資源、芸術文化の素晴らしさを発信していくことを目的として実施する。

○2019テーマ 「bloom - 開花 - 」

戊辰戦争後の苦境を越え、明治32年に会津若松市が市制施行してから120年を迎えた。明治後期から大正期にかけ、交通網の発達、経済の成長、生活様式の変容など、市は目覚ましい発展を遂げ、時代のうねりのなか、人々の濃密なエネルギーが街にあふれていた。

あの時代が私たちに語りかけることへ耳を澄ませながら、街と人、そして文化とアートの力を花々に例え、人間とアートの可能性を探求する。

【背景】

- ・市制施行120周年 (明治32年)
- ・経済成長 → 岩越鉄道開通、産業の発展・近代化
- ・青木志満六 → 会津若松市徽章、鳥瞰図、漆器図案集、店頭装飾競技会など
- ・漆器産業 → 技術革新、漆器図案集等の発行など
- ・美術運動 → 紅樹社、後素会・彩光会(会津中学校)、
製作品展覧会(県立工業学校)等
- ・その他 → 和洋折衷建築・洋風建築、活動写真館

《市制120周年記念企画》

①「会津のマルチクリエイター 青木志満六展」

市の徽章の制定にも関わった青木志満六の活躍を紹介する企画展

②青木志満六記念講演会

青木志満六研究の第一人者、田中みなみ教授(芝浦工業大学)の講演会

③幻の会津漆器デザイン復活プロジェクト

会津漆器協同組合青年部の協力により、昭和初期に絵画、出版、漆器業、観光業など幅広いジャンルで活躍した青木志満六によって描かれた漆器の図案をもとに会津漆器を新たに制作

④市ゆかりの若手芸術家等による特別企画

第一中学校美術部による鳥瞰図制作プロジェクト

⑤市収蔵美術作品展

主に大正期の美術団体「紅樹社」と当時活動していた作家による市収蔵作品を紹介する企画展。(関連作家は渡部菊二、春日部たすく、荒川三郎、加藤藤次、酒井三良、松原石舟、青木志満六など)

⑥短編映画作品制作

「bloom-開花-」をテーマに、現代の視点でプロの映画監督による短編のサイレント映画を制作

《会津・漆の芸術祭》

(1) 漆の新たな魅力と可能性

- ・ **うるし その可能性と未来**
全国の漆芸を学ぶ大学で生み出された漆のアート作品を歴史的な蔵に展示
大学生の出品作品を対象とした審査会の開催
起き上がり小法師プロジェクトの実施
- ・ **真夏の漆塾**（※実施済み）
全国の漆芸を学ぶ大学の学生を中心とした現地研修プログラム
- ・ **現代漆芸作家による作品展示**
市内外の漆芸作家の作品をまちなかの蔵や歴史的建造物、ギャラリー、店舗等に展示

(2) 会津塗の文化継承

- ・ **会津工芸新生会展**
会津地方を中心に活動し、50年以上の歴史を誇る「会津工芸新生会」の会員による作品展
- ・ **漆器店の蔵出ギャラリー**
まちなかの漆器店の協力による店舗が所有する逸品を展示

(3) 漆の体験、漆を学ぶ

- ・ **さわろう！あそぼう！うるしで育むこどもの世界**
漆塗りの遊具に自由にさわって遊べる展示（小さな子どもを連れた親子を対象）
- ・ **ワークショップ・イベント等**
市農林課との連携による「うるし林見学会」
小中学校への漆の出前講座

《まちなかピナコテカ》

(1) 若い感性の芸術文化

- ・ **新しいA I Z Uの美術展**（主催：公益財団法人会津若松文化振興財団）
県内外で活躍する会津地域・県ゆかりの若手美術作家の作品の展示
- ・ **若い感性から生まれた作品たち ～ U-18の作品展 ～**
市内の高校生を中心とした絵画、工芸、書などの作品の展示

(2) 会津地域の芸術文化

- ・ **第56回会津美術協会展**（主催：会津美術協会）
- ・ **アートチョット展**（主催：アートチョット、七日町通りまちなみ協議会）
市内で活躍するクリエイターの皆さんのアート作品の企画展
- ・ **障がい者アート展（仮称）**（主催：自立支援協議会）
複数の障がい者施設の皆さんが制作した作品を紹介する作品展

(3) 芸術体験ワークショップ・イベント等

- 関連作家や関連団体によるワークショップ等を開催